



森のなかま

2014年12月号
NO. 80 (継続225号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0014 厚木市旭町1丁目8-14・グリーン会館 TEL046-280-4101・FAX046-280-4102



“第37回かわさき市民祭り 街頭キャンペーン”

日：11月1日(土) 11月2日(日) 11月3日(月)

場所：川崎市川崎区富士見公園 おまつり広場西ゾーン西スタンド2FL

< 普及啓発部会長 足立 功 4期 >

出店

今年は私達の出店場所は屋内となりました。
入場者数が心配でしたが、皆さんの努力の結果、
昨年とあまり変わらないお客さまに来て頂きました。

参加者

11月1日	216人(大人104人、子ども112人)
11月2日	324人(大人151人、子ども173人)
11月3日	285人(大人136人、子ども149人)
合 計	825人

■ キャンペーン実施内容

- (1)「紙芝居(水は森林からやってくる)」、「クイズ(大人用、子供用)(問いかけ)」、「水源涵養機能実験コーナー」等により、「森林の働き」を通じて、「水源の森林づくり」事業を理解していただく。
- (2)間伐材丸太切り体験
- (3)木工教室(間伐材の輪切りを使った工作等)
- (4)リーフレット配布等による「水源の森林づくり」の広報
- (5)トラスト会員勧誘および普及啓発活動
- (6)第37回かわさき市民祭り実行委員会との連絡調整

2014年度屋内会場の配置



屋外でのお客さまへの案内



受付



プレゼント・募金

緑の募金とガラポン



(写真撮影：伊藤恭造氏⑦、星野澄佳氏⑬、足立功氏④)

紙芝居と水源涵養実験

お話をちゃんと聞いた方にはプレゼントが！！



台座作り (疑似間伐体験)

木工教室 どんぐりクラフト

上手にできました



■ 久保理事長が登壇致します。 ■

丹沢大山自然再生活動の成果と課題を考える ～森林・登山・山里再生～

(我が会(かながわ森林インストラクターの会)の久保理事長はこの会の副委員長で当日は登壇されます)

●日時／平成26年12月13日(土)10:00～16:30

●場所／県立生命の星・地球博物館 ●定員／300名 ●参加費／無料

主催／丹沢大山自然再生委員会 共催／県立生命の星・地球博物館 後援／神奈川県自然環境保全センター

申し込み：行事名「丹沢大山自然再生活動報告会参加申込み」・所属・氏名・電話番号・ワークショップ参加希望の有無と希望テーマを明記して、FAX(046-248-0737)または

HP <http://www.tanzawasaisei.jp/> の申し込みフォームにてお申し込みください。

申込み締切り12月5日

【問合せ】丹沢大山自然再生委員会事務局

自然環境保全センター 自然再生企画課 電話：046-248-0323(内線 298)

～緑のボランティア活動報告会 2014～

(我が会(かながわ森林インストラクターの会)の久保理事長は活動報告のトップバッターです)

●日時／平成26年12月19日(金)10:00～17:30

●場所／「木材会館」東京都江東区新木場1-18-8 木材会館 ●定員／100名 ●参加費／無料

主催／(公財)国土緑化推進機構 共催／日中緑化交流基金

申し込み方法

本事業全般に関するお問合せ

公益社団法人 国土緑化推進機構 募金部
[担当]秋元・志水 TEL:03-3262-8457 FAX:03-3264-3974

申し込みに関するお問合せ

緑のボランティア活動報告会2013 運営事務局
株式会社エス.ピー.ファーム [担当]大杉・大和田 TEL:03-5283-6531

※必要事項をご記入の上、下記申込み先までFAXでお送りください。

《お申込み先》 株式会社エス.ピー.ファーム FAX:03-5281-5501

氏名				フリガナ			
所属				役職名			
住所	〒						
TEL	-			FAX	-		
E-mail							
情報交換会	※どちらかに○を付けてください。						
	[] 参加する・[] 参加しない ※参加費は自己負担となります。						

第2回 “やどりき周辺の山歩き” 10月18(土)

コース： 寄管理センター～管理棟～雨山峠～ユーシンロッジ～玄倉林道～玄倉バス停

< やどりき事業部会 江頭 淑子 13期 >

清々しい空気と秋空に恵まれ絶好の山歩き日和でした。管理棟前でミーティング。リーダー、サブリーダーを中心にコースと注意事項等を確認して、いざ出発。

少々水量の増した寄沢を慎重にかつ楽しみながら徒渉、川原に落ちたケヤキの実を見つけたり、山道でガマズミの真っ赤な実がたわわな様子を見て私たちの方が小鳥たちより早く見つけたかもしれないなどと言いながらカメラを向けたりしました。



水量の増した寄沢



真っ赤なガマズミの実



少し前の台風の影響でしょうか、2～3カ所足場の悪いところ、倒木等もあり、足下に注意も必要でしたが、イワシャジン、ダイモンジソウ等の花も楽しみながらの雨山峠まででした。



ダイモンジソウ



イワシャジン



シラヒゲソウ

雨山峠で一息入れて、ユーシンロッジへ。この下山路も魅力的です。歩きと花、そして今回は紅葉の始まりも感じることができました。杉の木立が美しいユーシンロッジで昼食。今は避難小屋としてしか使われていないのは残念ですがファンタスティックな場所です。

ここからは帰路、ただひらすら林道歩きで退屈かと思っていたのですが いえいえ、イワシャジン、リンドウ、シラヒゲソウ、ヤクシソウ、ノコンギク、シロヨメナ等々の花であふれています。玄倉川の青い水と白い石、8つのトンネルもまた、林道歩きのアクセントでした。丹沢を知り、歩きごたえもあり、コースも花も紅葉の始まりも満点



の山歩きでした。「こまち」での山行振り返り懇親会では下見をして下さった辻村さんも交えての丹沢談義で大盛り上がりでした。



トンネルのひとつ

ユーシンロッジにて全員で

(写真撮影：飯澤 恒 氏)

参加者：L 福島 孝弘⑨、SL 飯澤 恒⑨、菊池 昭子①、滝澤 洋子⑤、
内野 みどり⑨、小林 保喜⑨、大橋 聡⑪、湯浅 鉄男⑪、
西出 健一⑫、源島 道恵⑬、江頭 淑子⑬

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

第5回 抽出成分は植物の自己防衛の武器
香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

植物の色やにおいのもとになってそれぞれの植物の特徴を作りだしているのが抽出成分であることを前回に述べました。それ以外にも抽出成分は植物にとって大きな役割を持っているのです。一昔前までは抽出成分は植物の排泄物であるように思われていました。不必要になって体外に出すものと考えられていたのです。ところが、科学技術が進歩して、それまでは微量なので捕捉できなかったものを単離できるようになったり、複雑な構造が容易にわかるようになったり、化合物の働きを知る生物検定技術が進歩したりしたために、抽出成分の正体が明らかになってきたのです。そして抽出成分は役に立たない排泄物であるどころか、それぞれの抽出成分が植物にとって大切な役割を担っていることが明るみに出てきました。核酸、タンパク質、アミノ酸などのように生物が生命を維持するために共通して必要としている物質を一次代謝産物と言います。これに対して一般的でなく特定の植物にのみ含まれ、その植物を特徴づけているものを二次代謝産物と言います。抽出成分は二次代謝産物ですので、生命を維持するのに不可欠な一次代謝産物に比べて軽んじて見られていたのかもしれませんが。ところがその抽出成分が植物が生きていくうえで重要な働きをしているのです。

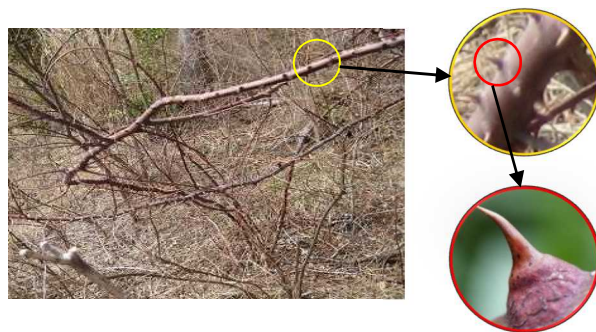
植物は一度根を張ったら葉をかじる害虫が来ても、枯らしてしまう病原菌が飛んできて動物のように走って逃げることができません。もし、これらの外敵に思うように葉をかじられ、幹を枯らされていたらおそらく植物はしだいに消滅し、地球上に生存していなかったかもしれません。しかし、植物は緑の葉を広げ精力的に繁殖して私たちに潤いをもたらしてくれています。実は植物が元気にそだっていく裏には理由があったのです。それが外敵から身を守る自己防衛の武器です。それには物理的な防除法と化学的な防除法があります。トゲや硬い葉、硬い樹皮で身をかじる敵を寄せ付けず、また、種子になって遠くに飛散して生育場所を移して外敵から身を守るのは物理的防除法です。

化学的防除法が抽出成分によるものです。植物には

カビやウイルスに抵抗性のある抗菌性物質を貯えているものがあります。この抗菌性物質こそが抽出成分の一つなのです。病原菌が飛んできると急きょ抗菌性物質を作りだし抵抗する植物もあります。害虫が嫌がる摂食阻害物質や忌避成分、殺虫成分などを貯え害虫から身を守るものもあります。植物の敵は病害虫だけではありません。同じ仲間と信じている他の植物でも自分の根を張っている場所に侵入して来れば自分の領域を守るために根を張ってこられない、あるいは種子の発芽を阻害するような抽出成分を作りだします。敵を追い払うのとは逆に花に虫の好むにおいや色を付けて虫を引き寄せて花粉を運んでもらうのも植物が子孫を残すために編み出した抽出成分の役割です。こうして見ると抽出成分は植物が生きるためになくしてはならないものなのです。物言わず静かにたたずんでいるように見える植物ですが、実はしっかりと自分の意思を持って身を守っているのです。

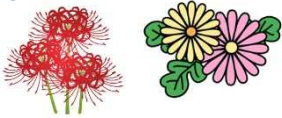
◆ジャケツイバラ(蛇結茨)

自己防衛の鋭い返し(トゲ)は動物も寄付けない
⇒受粉のために虫を呼び寄せる美しく甘い蜜の花
⇒そしてはじけ飛ぶ種に



(写真撮影:湯河原市菜畑林道 2012年2013年 広報 松本)

活動短信



秋分 から 寒露

今回の掲載は
9月20日～10月18日です。
寄稿頂いた中には、紙面都合
や寄稿タイミングで上期日
前や次号以降の掲載になるも
のがあります。
予めご了承下さい。

◆ 県民参加の森林づくり（学校林の除伐作業）

日 9月13日(土)8:30～16:10

場 相模原市緑区青根(学校林)

参 54名

財 内海課長、鳥海様、看 小林様

地元スタッフ 青根小学校倉田校長、佐藤草木社長

イ L高崎③、富樫⑥、塩谷⑦、清水⑧、村井⑨、
後藤⑩、波多野⑪、山口⑪、山下⑪、研 江頭⑬

本厚木南口からマイクロバスに乗りし、8時40分に出
発、途中鳥居原でトイレ休憩後、青根小学校に10時過ぎ
に到着。樹齢700年の大杉がある青根諏訪神社上の空
き地でオリエンテーション、ストレッチ体操で身体を整え、
4グループに分かれ除伐作業に向かいました。

作業場所は、青根小学校右側の傾斜地で、児童が自
然観察に使うため、クロモジやサンショウなどではできる限
り残し、下層植生の整備と3本あった藪椿のうち一本を切
り倒し、見通しの良い環境になりました。

作業終了後、緑の休暇村センターに移動し、地元の食
材を使った昼食を頂き、倉田校長と佐藤社長による『学
校林と地域林業』と題する講話の後、希望者は温泉入浴
し、本厚木南口に16時10分に到着し終了しました。

(記 後藤 幸雄 10期)

◆ 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ

環境課題(間伐、自然観察、木工体験)

日 9月20日(土)9:50～14:40、曇り

場 小田原いこいの森

参 ゆめコープ29名(内 子供12名)

イ L小沢⑨、篠原⑨、小川⑬

協力 小田原市森林組合 佐藤様

曇り空の中、パルシステム様のオリエンテーションを開
始。インストラクターより森の様子や移動時の“ハチ”対
する注意・対応等を説明し間伐体験場所まで散策移動。
途中は自然観察を兼ねて水源やそこに生きる“カニ”を
探し、ロープを補助にした山歩きも楽しみながらヒノキの
林に到着。間伐は4班に分かれ、それぞれ1本を選定し、

インストラクターから間伐目的の説明・作業指導しながら
全員でノコギリを使い、最後はロープを引いて安全に間
伐を行った。各班から達成した喜びの歓声が上がった。

作業後はコースターを切り出し香りの良いお土産も作
った。昼食時は森林の役割説明に耳を傾けて頂いた。

午後は、子供達の木工体験(木いちろう:犬の鉛筆削り)
と森林探検をサポートした。大人グループは環境課題や
木の活用等の意見交換をされていました。活発な親子、
仲の良い友達による会で、事故もなく楽しい一日になりま
した。

(記 篠原 光男 9期)

◆ 緑の募金保全活動(ササの除伐)

日 9月21日(日)8:30～16:00、晴れ

場 箱根町仙石原(小塚山トラスト緑地)

参 大人36名 + 子ども1名

財 鳥海様 豊丸様、看 小林様

イ L杉崎⑩、高崎④、富樫⑥、戸谷⑥、村井⑨、
小沢⑨、上宮田⑪、柴⑪、澤村⑫

研 江頭⑬、江上⑬

7時半過ぎに小田急線で線路故障が発生、参加者への
影響も懸念されたが予定通り小田原駅を出発することが
でき一路箱根へ。例年より早く訪れた爽やかな秋の気配
に今日の活動の成果が期待された。

予定通り現地到着。オリエンテーションでは財団鳥海
様から今日の活動の目的等、杉崎インストラクターリーダ
ーから地際で伐ること、隣との間を十分取ることなど諸注
意があり、上宮田インストラクターにより準備体操。家族で
参加していた小学生の応援を得て熱のこもった準備体操
になった。

ヘルメットや鋸を受け取り現場へ。10時過ぎに4班に
分かれ作業開始。途中去年刈ったところに新たに生えた
ササを整理。藪の縁に横一列になり背丈の倍ぐらいある
ササを地際より刈り進む。休憩や水分補給を各自適宜取
りながら11時50分まで作業。程良い汗をかくことができ
たものと思う。

現場を離れる時作業したあとを振り返ると20m 程刈り
進んだ事が確認できた。道具を整備して班ごとに食事を
とりミーティングを行った。

内容は

- ・去年とはちがって班に分かれてミーティングを行うことについて意見を出してもらった班
- ・作業内容、作業時間等、その他活動の進め方について意見を出してもらった班
- ・楽しい活動になるよう互いに注意点を出してもらった班
- ・ササや竹のことを勉強した班等々であった。

(記 澤村 徹 12期)

◆ (公財)鎌倉市公園協会

緑のレンジャーシニア(第7回)(枝払い・間伐)

日 9月27日(土)、晴れ

場 散在ヶ池森林公園(鎌倉)

参 14名(男10名、女4名)

スタッフ 鎌倉市公園協会 千田様、後藤様

イ L安部⑤、小沢⑨

鎌倉市公園協会が緑のレンジャーシニア対象に年間11回の予定表を作成、今回は7回目として散在ヶ池森林公園で行われた。

10時管理事務所わきで本日のオリエンテーリング開始全員に本日使用される道具を身につけ、準備運動、2班に分かれ15分位歩き作業現場へ。

6回目(9/20)に公園を巡回しながら公園緑地の管理上の問題点として枯損枝、枯損木等に目印を付けた木の間伐や枝払いを全員で行う。

長年にわたり公園として管理されている場所であり、公園散策上危険箇所と思われる木の整理が目的。

作業終了後管理事務所まで戻り、道具の整備等を行う全員ヒヤリハットも無く無事終了次回の参加場所等を確認しながら12時に解散。

(記 小沢 章男 9期)

◆ 日揮株式会社

パートナー林での保全活動 間伐体験

日 9月27日(土)10:30~12:45、曇り

場 宮ヶ瀬湖畔 日揮ネーミングライツ森林

参 社員と家族20名(大人19名、子供1名)

県 亀田課長、増田様

イ L伊藤⑦、齋藤武久⑥、阿部⑧、齋藤彰秀⑧

薄曇りのなか、気温17℃と絶好の“間伐日和”。現地は50~60年生のスギ・ヒノキの混交林を中心に、カシやナラ等の広葉樹が自生する植生豊かな場所です。事前ミ

ーティングでは、急傾斜が多いことから移動・作業時の足場の確保、間伐作業の危険性、蜂・ヤマビルの3点について注意を促すよう意思統一しました。

10時過ぎに参加者が到着、挨拶、道具を渡し、4班に別れて現地に向いました。海外で事業展開をされていることもあり、参加者は日本の他、インド、韓国、マレーシアと正に多国籍企業。説明・指導も通訳を交えてのものになりました。

作業中は多少掛かり木になったもののチームワークで対応。特に外国の方が作業をされている時には、英語でアドバイスし合う等参加者同士でコミュニケーションを図られていたことが印象的でした。伐倒後は、明るくなった林内を見渡したり、コースター作りを行なったりする等それぞれが“森の恵み”を楽しみました。

まとめのあいさつでは、全員が「また来たい」と笑顔で答え作業は終了。その後、宮ヶ瀬湖畔園地で昼食会、社員及び家族の皆様と親交を温めた一日でした。

(記 齋藤 彰秀 8期)

◆ 秦野たばこ祭り

日 9月27日(土) 9月28日(日) 10時~12時

場 秦野たばこ祭り「こども広場」

参 1日目 推定300名(内子供 250名)

2日目 推定380名(内子供280名)

イ L森本⑤、米本②、上宮田⑪

両日も晴天に恵まれ大勢の来場者が見込まれる2日間となりました。9時40分に秦野駅へ、グッズや沢山の資料を入れた旅行鞆と共にまきに行商人さながらの仲間が集合。重い荷物を抱え会場となる横浜銀行駐車場「こども広場」へ向かいます。

「こども広場」でのイベントは秦野国際クラブ様の(ポニー乗馬)と(小動物のふれあい)コーナーと我々のブース「グッズ販売」「漢字あてクイズ」「草笛体験」「緑の募金」コーナーのみ。開店の11時を待たずにお子様連れのご家族が沢山集まってきました。お目当てはポニー乗馬と囲いの中の愛らしい小動物とのふれあいです。目的達成後、いよいよ我々のブースへとはいざないました。思いがけずも 草笛体験(葉巻笛)コーナーは大変な人気です。割りばしを使って檜の葉をくるくると巻きセロテープで止め片側をつぶすという簡単な作業。つぶした方を口の中へ入れ頬っぺたを膨らませ思い切り吹く。「プー」と音

がでたら大成功！初めての体験、草笛の響きに笑顔がいっぱいです。

草笛の講師松永さんの演奏にあわせ「ブ～ぶ～ブ～」プッぷっブ～。

「森の漢字あてクイズ」は、紙芝居形式で楽しんでいただき、特に大人には大変評判がよくイベント時に十分通用するものでした。

グッズ販売ではシイタケの携帯ストラップやでんでん太鼓そして、2日目はラワンの飛行機も出て売れ行きも好調。自然の恵みを利用した遊びに触れながら森は水のふるさとや成長の森の募集チラシを配布し人と森との関わりについても話ができて有効な2日間だったと思う。

市外関係者の出店はお断りの状態のところ、秦野市・観光課にかなり強引な交渉をして出店することが出来た事。関係者には深く感謝を申し上げたい。

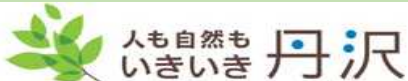
今回から露天王グランプリ2014がネットからの応募で決まるそうです。グランプリ応募対象のお店にはなっていないが来年出店のカギがそこにあるのであれば今回の評価として、報われることを期待したい。

(記 上宮田 幸恵 11期)

丹沢の自然再生に取り組む

丹沢大山自然再生委員会ホームページをご覧ください。

<http://www.tanzawasaisei.jp/>



◆ 県民参加の森林づくり (広葉樹植栽)

日 10月1日(水)8時～15時40分、曇り

場 箱根町仙石原(町有林)

参 83名

財 内海課長、鳥海様、 看 小林様

スタッフ 箱根町 岡崎様

イ L宮本④、国分③、米山④、高崎④、愛木⑦、坂齋⑦、辻村⑨、園田⑨、村井⑨、内野⑨、水津⑨、杉崎⑩、加藤⑫、大原⑬、江頭⑬、星野⑬

研 小川⑬、藺田⑬

小田原駅西口で受け付けをして、チャーターバス5台で現地へ。

仙石原浄水センターで全体のオリエンテーションとストレッチ体操をした後、徒歩で作業現場へ向かう。5班編制

で徒歩往復の移動、植栽作業、ミーティングはすべて班単位。

身支度を整え、ヒメシャラ、イロハカエデ、ヤマボウシ、ヤマザクラ各200本、計800本をそれぞれの班で分担した。班リーダーの作業デモ、注意事項説明の後、作業開始。支え棒の立っている位置に植栽を行った。傾斜地ではあったが時間もゆったりあり、気温も涼しいくらいだったので丁寧に楽しみながらの作業であった。支え棒に予め紐がセットされていたことも作業をスムーズにした。

作業終了後は植栽した景色を眺めながら各班で昼食とミーティング。植栽を初めて経験した方の感想、経験者の話、フィトンチッドの話から癒しのミニ体験、混交林について、等々各班で盛り上がっていた。

心地よい汗をかき、帰りに箱根高原ホテルの温泉を楽しめたことも皆さんの気持ちをより豊かにしたようである。怪我も無く身も心も充実した一日になった。

(記 江頭 淑子 13期)

◆ 横浜市立汐入小学校 (登山をしながら自然観察)

日 10月1日(水)、曇り

場 箱根園～駒ヶ岳ロープウェイ～駒ヶ岳～神山～大涌谷

参 4・5年生76名と教師6名

イ 武者⑦、安部⑤、白畑⑦、阿部⑧、湯浅⑪、長尾⑬、永松⑫

御嶽山噴火直後に大涌谷に出掛けるのはいかながなものと先生達も心配していたようだが、警戒レベルが上がっていないので催行決定。予定どおり箱根園に集合し、10時半発のロープウェイに乗って駒ヶ岳山頂に。

着いたときは芦ノ湖が見えていたがすぐ霧に隠れてしまった。4年生・5年生の混合の班編成で、5年生は昨年6月にも登っているとの事。季節が違う山を体験することができたのではと思う。4年生は事前学習で箱根の植物などを調べてきていてトリカブト等、興味深く観察していた。今回のコースは登りが短いので4年生がいるのもとても良い選択だと思った。

季節柄、花の種類は少なかったがヤマボウシやサンショウバラの実・バライチゴ・キノコ類を見ることができ子供達は楽しそうだった。怪我もヒヤリハットもなく予定時刻に無事大涌谷に到着しました。

(記 永松 裕子 12期)

◆ サムスンの森 ボランティア活動 (枝打ち)

サムスングループ3社合同のCSR活動

(サムスン電子ジャパン株式会社、
日本サムスン株式会社、株式会社サムスン日本研究所)

日 10月4日(土)8:30~15:10、曇り

場 南足柄市塚原ボランティアフィールド

参 サムスン従業員116名

(うち女性30~40名、スタッフ:後藤様他 3~4名)

県 亀田課長、十鳥様 看 小林様

イ L 森本⑤、国分③、伊藤⑦、坂齋⑦、内野⑨、

小沢⑨、村井⑨、小笠原⑩、大塚⑪、

藺田⑬、⑬小川⑬、焼尾⑬、松本⑪

台風18号の影響がとても心配だったが、終日曇りで作業には最適の気候となった。(翌日は台風で大荒れ)

サムスングループ3社のCSRの一環としておこなわれた活動。マイクロバス6台で各所から若い社員が次々と到着してきた。作業は10年物のヒノキの枝打ち。枝打ちは初めての人が多かったが、用具の装着、道具の使い方に抵抗なく作業に入っていた。予定エリアを終了した班が多かったので作業エリアを拡大したくらいのエネルギーの面々であった。ノコギリの刃折れ等のヒヤリハットはあったが、事故も無く無事終了した。着替えを21世紀の森で、其の後、懇親会をアサヒビール園で行う予定でお別れした。

社員の方が言っていました、韓国の山は日本のような山でなく岩の多い山が多いそうです。日本の水が“きれいでおいしい”の一端がわかりましたと。

最近の日本企業では薄れつつある若い人のパワーを感じた。これがアップルと張り合う源かと感じた。今日は逆にインストラクターは山のパワーとともに若い人からパワーを頂きました。

(記 松本 保 11期)

◆ 回胴式遊技機商業協同組合 (下草刈り)

日 10月4日(土)11:00~12:30、曇り

場 やどりき水源林

参 94名(大人83名、子供11名)

イ L 竹島③、渡辺③、鈴木⑤、山崎⑦、斉藤⑬

回胴式遊技機商業協同組合による環境保全活動で、H19年に広葉樹130本を植栽、H24年の下草刈りに続き、3回目の今回もH19年植栽地の下草刈りです。

11時ごろマイクロバス6台で関東甲信越支部の94名の参加者がやどりき水源林に到着。広場での回胴式様ご挨拶と趣旨説明に続き、全員で大きな声を出して準備運動。3班に分かれて前半後半の作業と散策を行いました。

散策ではムササビの巣を観察したり、森の案内人の説明をしました。植栽地はシカ柵の中のため下草が背丈以上に伸びきっていて大変でしたが、参加者の頑張りによって草刈り後は見通しが良くなる程になりました。作業の途中で終了の時間になり広場に戻って道具の手入れとまとめを行い、たくさんの募金をいただきました。

事故や怪我も無く12時半には参加者をお見送りし無事終了。台風前の穏やかな曇り空の下、皆様の再訪を期待して解散しました。後日、有志インストラクターによって同植栽地の残った下草刈りを行いました。

(記 斉藤 夏葉 13期)

◆ 川崎市「里山ボランティア育成講座」第4回

日 10月4日(土)9:30~15:00、晴れ

場 古沢都古緑地

参 29名

スタッフ 市 1名 協 野牛様他 1名、人材バンク 6名

イ L 山崎⑫、門澤⑫、水上⑬、源島⑬、溝田⑬

開始にあたり川崎市山口様から、安全で怪我のないようにとご挨拶をいただき講座が開始された。

・講義 9:40~10:00 「竹林整備の考え方と作業の実際、竹の活用」 講師:野牛雪子氏(公園緑地協会職員)

・竹の伐採展示 10:10~10:30 講師:森林インストラクター<山崎、門澤、水上>

・班活動 10:30~14:00 4班に分かれて竹の間伐を行った。本日は、丁寧な基本作業(受口、追口、切戻し、枝葉の処理、ヘッジ)を心掛けると共に、安全作業(声掛け、他人の安全、自身の安全)に重点を置く。

・希望者別にクラフト(竹の活用)と間伐の継続組に分かれて作業後道具の手入、まとめ、次回の案内をして解散した。(14:00~15:00)

(記 溝田 幸和 13期)

ニュースレター「しずくちゃん便り」
ホームページは下記URLで見ることができます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23426.html>



◆ 県民参加の森林づくり（間伐）

日 10月11日(土)8:00～14:00、曇り

場 伊勢原市日向（承継分収林）

参 80名

財 内海課長 鳥海氏 スタッフ 伊勢原市役所

イ L上田⑩、井出①、佐藤①、渡辺③、高橋③、
足立④、佐藤⑤、相馬⑤、伊藤⑦、有坂⑧、齋藤⑧、
阿部⑧、大澤⑩、大橋⑪、門澤⑫、山崎⑫、

研 大塚⑪、北村⑬

19号台風の動向が心配でしたが、ゆっくりと北上してきたため台風が来る前の穏やか日に県民参加の森づくり26年度初めての間伐ボランティアが行われました。

現場は大山の東側日向キャンプ場の奥にあり比較的勾配の急な斜面に30年生のヒノキ林での間伐でした。

バスを下車し現場が一望できる林道上でオリエンテーションを行い本日の作業内容と安全作業についての説明を行い、準備体操の後各班に分かれて作業エリアに移動した。

作業エリアでは傾斜地で安全に作業できるように周辺の整理と、足場の確保を行う基本的な手順を踏みながら作業に取り組んでゆくようにインストラクターが誘導してくれました。間伐する本数を競うことなく1本1本自分たちが納得しながら作業が進んでゆきました。

「生まれて初めてのこぎりをもって木を切って感激した。」という方もおり、参加者の皆様も自分たちの作業に満足感を持ち、かつ無事間伐作業を終えることができました。

道具手入れの後、班ごとで昼食をとりながら本日の作業を通して話し合いが行われました。

双方向での話し合いにより参加者の森林づくり活動の意識を高めるために意義のある時間でした。

（記 上田 啓二 10期）

◆ 生長の家 神奈川県教科部（竹林整備）

日 10月12日(日)14:00～16:00、曇り

場 21世紀の森(展示林)

参 26名(大人25名 子供1名)

スタッフ 21世紀の森所長 磯崎様

イ L高橋③、出口④

紅葉の気配に早くもたよう、21世紀の森に「もうすぐ紅葉だよ～」と風景が話かけているかのようでした。

参加者人数が20名の予定が26名の変更となりました。10代、20代、30代と、若々しい方々で、圧倒されました。

磯崎様、高橋リーダーがヘルメットと鋸の着用の説明し、準備体操を終え、真竹の切り方の説明(地面平行に切る)と現場の説明いたしました。

現場(展示林)へは木材工芸センター裏手の道から道路へ下りガードレールを超え、橋を渡った正面でした。現場で高崎リーダーと出口が竹切説明(特に作業道から出ている竹を切る)し、二手に別れ作業を開始しました。道の途中に自動カメラ設置がありまして、作動して写真を取られた方が、「このカメラ私を動物と間違えているのでは?」と言ったところ皆一斉に大笑いでした。

作業中は、皆さん疲れもなくかなり奥まで作業をさせていただき終了いたしました。木材工芸センターに着き、使用された鋸の手入れをして終了。

（記 出口 工吉 4期）

◆ 横浜市立さわの里小学校

（足柄宿泊体験学習 ～枝打ち～）

日 10月16日(木)10:00～14:00、晴れ

場 小田原市久野山林

参 小学5年生 51名、教師6名

財 古舘様 地権者 星野様

イ L伊藤⑦、小野⑦、武者⑦、大原⑬、小川⑬

担当インストラクターは足柄上合同庁舎に8時30分集合して二台の車で体験場所へ向かった。

大型台風19号の影響が心配されたが、朝から抜けるような青空が広がり、初冠雪をかぶった富士山が美しく輝いていた。

準備体操のあと、枝打ち作業は初めての生徒さん10人ずつを各インストラクターが受け持ち一班から五班にわかれ、受け持ち場所へ向かった。

安全管理の徹底と無理をせずに丁寧な作業の大切さを伝えて、一人1本ずつで作業を進めた。八年生の檜林はまだ一度も枝打ちがされておらず、光も届かない真っ暗な状態であったが、額に汗をにじませながら熱心に作業をしていると徐々に林が明るくなっていくにつれ、生徒さんたちは楽しい!!と目を輝かせていた。

昼食時には車座になり、枝打ちの必要性や森林の大切さ等を話しあい、その後は山の中を散策すると、沢蟹

の家族を見つけ楽しそうに笑いがはじけていた。
いつもはこのような自然に触れるチャンスが少ないので
あろうか、林の中で深呼吸をして満足そうにしていたの
が忘れられない。

(記 小川 和恵 13期)

◆ 横浜市立希望ヶ丘小学校(登山をしながら森林講話)

日 10月16日(木)10:30~13:30 晴れ

場 愛川ふれあいの村

参 小学4年生88名 教師等9名

イ L西出⑫、安部⑤、小沢⑨、海野⑩、湯浅⑪、
永松⑫、江頭⑬、松石⑬、真部⑬

この日は富士山の初冠雪が見られ絶好の登山日和で
あったが、2日前に台風が通過した影響で、前日に高取
山登山から村内「木ラリー」に変更された。

「木ラリー」は、村内の地図を見ながら樹木名札の付い
た木を探し、簡単な説明と葉のイラストを頼りに木の名前
と番号を解答用紙に記入するもの。

バスで到着したばかりの子供たちは、9班に分かれ、
それぞれに教員とインストラクターがついてラリーを開始。
12種類の木を目指して元気よく村内へと散らばっていく。

樹木名札が見つかるごとに歓声があがり、インストラ
クターはその木について、それぞれの持ち味を活かした
説明を行った。説明をしっかりと聞いている子供たちはい
たが、どんぐり探しに夢中になったり、早く次の木を見つ
けたくて走り出していく子供たちもいて、それぞれに「木
ラリー」を楽しんでいた様子。

今回は小さな体験ではあったが、木の種類に興味を
持ち、身の周りの樹木を知る事の大きな楽しみにつなぐ
ことを願っている。

(記 真部 幸枝 13期)

◆ 横浜市立能見台南小学校 足柄宿泊体験学習
(足柄ふれあいの村内ウォークラリー)

日 10月17日(金)10:15~11:45、晴れ

場 足柄ふれあいの村

参 小学5年生 146名(4クラス)、教師等4名

イ L杉崎⑩、白畑⑦、渡部⑦、小川⑬、蘭田⑬

抜けるような青空、初冠雪した富士山もくっきり望める晴
天に恵まれ、絶好のウォークラリー日和でした。児童達は
定刻少し前に元気に食堂棟前の広場に集合し、先生か

ら今日の注意事項などの話があり、杉崎リーダーの挨拶
に続き各インストラクターの紹介、その後各自のポイント
に出発する。今回の活動は、子供たちを24班に分け12
班ずつ時計回りと反時計回りでウォークラリーをスタート、
下見の際各インストラクターのポイント5か所を選定し、各
自そのポイントの特色に即したレクチャー内容を準備し
話をする事になっている。

ポイントで待機していると、遠くから子供たちの元気な
声が聞こえ間もなく最初の班到着。担当ポイントは、クス
ギ・コナラ・ケヤキなどの雑木林で、どんぐりが沢山落ちて
おり、生活木としての雑木の活用などのレクチャーをする
。3~4班が一緒になり大忙しの場面があったが、次第に
森の中に静寂が戻り活動終了となった。

集合場所に戻り全員の無事を確認し昼食後、宿泊する
子供たちと笑顔で別れの挨拶を交わし帰路に就く。

(記 蘭田 栄哉 13期)

◆ タカナシ乳業株式会社

森林整備 & 森林癒し体験

日 10月18日(土)9:50~14:30、晴れ

場 やどりき水源林

参 タカナシ乳業様 15名

(大人12名、中学生2名、小学生1名)

特別講師 鶴岡八幡宮「槐の会」事務局 3名

イ L若林⑨、高崎④、時田⑩、青木⑩、安井⑫

久しぶりの好天となった土曜日。初秋らしい爽やかな
活動日和となりました。参加者は予定通り現地に入り、関
係者の挨拶の後、安全対策説明、ストレッチを行い、活
動開始。

(午前) タカナシの森整備 2 班に分かれ作業を行いました。

①1 班は、今年 5 月に行った通路整備を更に、入口付近
まで進めました。2 班は、看板の清掃を行い、汚れも落ち
新しく生まれ変わったようで、とても綺麗になりました。

②葉っぱスタンプ下敷き作り

発案元である「槐の会」事務局の皆様を特別講師に招
き、創作に取り掛かりました。NW活動で、新たな企業間
のコラボレーションが生まれました。双方、これからも良
い関係が続くよう和気藹々とした雰囲気の中、それぞれ
の想いのこもった作品ができました。

(午後) 水源涵養機能の実演と森林癒し体験&コースタ

一作り

①森林癒し体験 ハンモックはいつもと違った場所で行い、沢の音、木漏れ日など新鮮に映ったようです。延寿の森では、樹幹のゆらぎ。そして、呼吸法・樹林気功を体験して頂きました。

②コースター作り サンドペーパーで切り口を磨く作業に、ことの外、熱中されていました。おかげでクッキリと焼印が浮かび上がり、皆さん歓声を上げていました。リピーターの方が多く、趣向を変えたプログラムに、とても満足された様子でした。尚、心配された事故もなく無事に活動を終えることができました。

(記 安井 健人 12期)

◆ 株式会社荏原製作所 間伐と自然観察会

日 10月18日(土)10:00~16:00、晴れ
場 やどりき水源林
参 28名 (大人18名、子供7名、スタッフ3名)
県 増田様
イ L渡部⑦、井出①、小野⑦、阿部⑧、真部⑬

朝は少し冷え込んだが気持ちのいい晴天に恵まれて、参加者はバスでやどりき水源林に到着。年に一度の水源林ということで活動の内容は盛りだくさんである。

午前中、大人班は杉の間伐を体験。親子班は午後のクラフトの材料探しをかねて自然観察に出発。子供たちは、色や形の異なる木の実・木の葉・きのこなどを見つけながら歓声をあげていた。

全員で鹿シチューとおにぎりの昼食をとり、午後は水源涵養の実験セットを使い、森の役割についての話を聞く。その後、大人班は自然観察、親子班はクラフトを楽しんだ。クラフトでは、用意してきた材料以外に、その場の石やこけ・小枝なども使って、それぞれ独創的で素敵な作品に仕上がった。

この日はタカナシの森の活動もあり、実験セットや丸太切りの時間が重なるハプニングにヒヤリ。最後の水生生物観察は、時期的に水が冷たく、主にインストラクターが採取して器の中を見ながらの説明であったが、きれいな水であることを感じて頂けたと思う。

日が傾きかけるころ、パートナー林での写真撮影に笑顔が見られた。

(記 真部 幸枝 13期)

◆ 日本石油輸送株式会社

森林活動(枝打ち作業)

日 10月18日(土)9:00~13:00、晴れ
場 塚原ボランティアフィールド
参 日本石油輸送(株) 男性社員16名
イ L渡辺③、大原⑬

塚原ボランティアフィールドは、県民参加の森林づくりで1月と5月に枝打ちした所で、13年生ヒノキ林の枝打ち作業でした。

渋滞で参加者到着が20分程遅れましたが、段取り良く装備等準備後作業現場に移動し、枝打ちの目的・やり方を説明し手本を示した後、足場の安全確保、皮を剥かないよう注意して作業を開始しました。小休止時に、森林の役割・保全意義の話や、ヒノキの特徴等の話を交えました。初めての枝打ちで、枝は地際から延びて足場確保が大変なところもありましたが、怪我もなく予定通りに作業を終えることができました。

社員の皆さんには作業後の振り返りで、明るく見通しが良くなったことを実感して頂き、また、森林のはたらきや役割に関する理解を深めて頂いたと思います。

快晴の秋空のもと新鮮な空気を一杯吸いながら活動することができました。

(記 大原 正志 13期)

投稿概略フォーマットと略語の説明

(ページレイアウトは気にされずベタ書きで結構です)

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付 (できれば時間と天気も)
場 場所
参 参加者
県 (神奈川県自然環境保全センター・水源の森林推進課)
財 ((公財)かながわトラストみどり財団)、
看 看護師
スタッフ 例 小田原市森林組合 X X様
例 川崎市公園緑地協会・X X様
イ インストラクター (○数字: 期)
研: 研修生
(以下本文を概ね300~400字を目安として執筆ください)
活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林 ミニガイド

11月のトピックス

訪れたインド人グループの皆さん。
此の日の案内人当番のインストラクター
が見事に英語で案内していました。



(11/16 撮影 松本)

12月の水源林

山々が冬に氷柱や夏にはみられ
なかった鳥や動物が見られます。

「森の案内人」情報

(12月、1月、2月は休止です。)

来春のお越しをお待ちしています。

●実施時間: 毎週土曜・日曜・

AM10時・PM1時、1～2時間程度

●集 合: 水源林入口ゲート前

●内 容: 森林インストラクターが自然
観察にご案内します。森林のしくみ
手入れなどについて説明致します。

参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記ま
でご連絡ください。

●問合せ: (公財) かながわトラスト
みどり財団 TEL: 045-412-2255

FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

●E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場
線松田駅下車、富士急湘南バス「寄
(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス
下車後(案内板あり)川沿いに徒歩
35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

森のふれあい館 企画展

2014.12.01.～2015.02.28.

『動物の冬越し展』

主な内容: ・雪中で活動する動物
・穴ごもりする動物 ・冬眠する動物
・食べ物を貯える動物 ・昆虫の冬越し
・冬の水辺の野鳥、森の野鳥、巣箱

神奈川県足柄下郡箱根町箱根 381-4

森のふれあい館 9時～16時半

入館料 大人650円、

平日中学生650円、小学生400円、

土日祝日の小中学生は無料

問い合わせ先: 森のふれあい館 0460-83-6006

関連サイト: <http://www.hakone.or.jp/morifure>

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員・購読の皆様からの原稿を募集して
います。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamo@jcom.home.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

〒221-0865

横浜市神奈川区片倉 2-1-50

Tel: 090-6150-6173

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037

横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamo@jcom.home.ne.jp

【別冊】水口 俊則

〒250-0871

小田原市下堀 123

Tel/Fax: 0465-42-7240

Mail: minagold109@kjd.biglobe.ne.jp

【CCで】竹島 明

〒238-0045

横須賀市東逸見町 3-7

Tel/Fax: 046-825-9281

Mail: 2nahemi0818@kce.biglobe.ne.jp

原稿は随時受け付けています。

森のなかまはHPで過去号もご覧になれ
ます。

[http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kiroku01](http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01) (HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★我が家の庭に訪れた猫を保護して
から、土日は自宅のリフォームで活動
を控えがちに。でも可愛いから許して
しよう…

(赤崎)

★ 突然雨が降り出して、コーヒーを飲
んでいた喫茶店で傘をいただいた。

冷たい雨の中、自宅近くをセーター
を頭に被って走ってきた女学生に傘の
バトンを渡すことができました。

(小川)

★寒さも深まり、ビールより熱燗でち
よこつといたくなってきましたね

(水口)

★快晴の箱根にちよいと出かけて見ま
した。芦ノ湖と富士山の景観が素晴ら
しい大観山付近では「つるうめもどき」が
赤い実をオレンジ色の皮から姿を現し
一足早い秋を見つけました。

(徳岡)

★長野県北部の地震は私の生まれ故
郷鬼無里も震源地脇で震度6弱でし
た。テレビラジオでは長野市としかで
ていなくて心配していました。誰も住ん
でいない生家の家具は転倒、墓も転倒だ
そうです。中学校のグラウンドには亀裂
が走っているそうです。水芭蕉のある
奥裾花の情報はつかめていません
が、たぶん問題が発生しているでしょ
う。

(松本)

◇ 年間購読のお申し込み

「森のなかま」年間購読をご希望の方
は、郵便局備付けの郵便振替を利用
してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛
で購読料年2000円をお振込み下さ
い。振替用紙には、必ず、住所、氏
名を明記して下さい。

振替用紙到着の翌月号から12回/
1年間お届け致します。

(頒 価 200円 送料共)

編集人: 松本 保

事務局: 竹島 明

広報部: 小沢章男 水口俊則

鈴木 朗 徳岡達郎 大塚晴子

加藤暖子 赤崎さほり 小川和恵

小池 哉

支援

伊藤恭造 川森健司 藺田栄哉

松田きらきらフェスタ 11月22日～12月25日、西平畑公園



恒例の松田きらきらフェスタがいよいよ
スタートしました。日が沈んだ後、約
18万球のイルミネーションに彩られ、光
と闇の夢幻空間が広がります。

今年の食べ納め、飲み納め
にお越しください!!

～ お 食 事 処 ～

こ ま ち

山 麓 の オ ア シ ス ③⑤

小田急 新松田駅
踏み切り際

緑の募金箱協力店